

大震災復興支援

ゆりあげ

関上の旅

榎ノ木

第廿八号

令和6年3月9日発行

青壮年部女性部広報

題字：大内翠峰



禪興寺ホームページ



がんばろう能登半島

本年1月1日に発生した令和六年能登半島地震で被災された皆様には、心からお見舞い申し上げ、物故者の御冥福を祈ります。

東日本大震災から丸十三年。絶望の淵からあきらめず復興を目指し歩んできました。

一日でも早い復旧・復興が進むよう、私たちも応援しています。

反町中 浅井 房枝

10月22日(日)青壮年部の関上朝市と震災遺構伝承館見学バスツアー研修に参加致しました。

天候にも恵まれ、ご住職、鶴橋初雄前会長はじめ二十名の参加者の皆様と久し振りの日帰りバスツアーでした。

関上港朝市での買い物とセリ体験では、欲しいものが読み上げられたら、自分の番号のつちわを挙げ、自分の番号が呼ばれたら成功です。人数も多く、なかなか成功しませんが、ようやく二品を落とすことができました。

買物も、新鮮な魚や海産物をたく

さん求め、特に大きなカツオを一本ごと買う人も多く、私も家族の為に求めました。とても満足でした。

お昼は、まぶしい太陽の光を浴びて、それぞれ市場での好きな物を買って、ゆっくお話をしながら、昼食を楽しみました。

その後、名取市震災復興伝承館では、語り部の方から住宅街のジオラマ・写真パネル等の説明を丁寧にして頂きました。又、津波を想定した水圧のドアや水圧の下駄の体験も全員で行い、その圧力に驚かされました。

名取市震災メモリアル公園では、それぞれのゾーンがあり、日和山ゾーンの神社では、松の木に津波の高さを表す傷付いた痕が残されておりました。8.4メートルの高さまで登り、周りが一面水没の様子がわかりました。

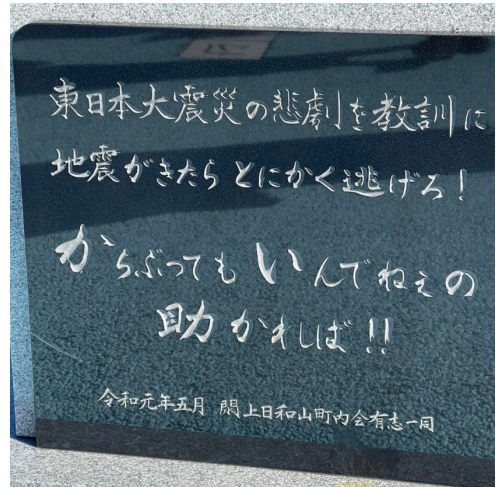
被害の大きさや犠牲者が九百二十三名という尊い多くの命が奪われたことに、胸が痛く、悲しい気持ちになりました。今回の目的でもあります慰霊碑に手を合わせ、全員で般若心経を唱えて帰路につきました。

復興に向けた色々な取り組みがされていきました。又、元気になっていく関上に会いに行けたらと思っています。



てっぺんまで津波に覆われた日和山神社での慰霊諷経

肌で感じる鎮魂と 復興の活気！



重っ!? 30センチ津波の体験下駄



慰霊碑前で語り部に耳を傾ける

じょうどうえ だいはんにゃきと
成道会・大般若祈祷



4年ぶりのお念仏に大興奮？大数珠は岐阜県下呂の温泉寺様より震災復興祈念に寄進

寄稿

母娘で初めて参加して

樹木葬 酒田市 河野葉子

成道会の連絡を頂き、何をすることも分からないまま、気になり、見学したい旨を伝え、参加しました。

当日駐車場に降り立つと、最初に目にとび込んできたのは伊達家の家紋でした。以前伺った際に住職様より話は聞いておりましたが、身近で拝見し娘と感動を覚え歴史を感じました。

少し遅れて本堂へ通されると、多くの住職様の唱える力強いお経が心の中に響き渡り感銘を受けました。ひとつひとつの動きがまるで絵巻でも見ているように感じられました。

途中から、見たことも触れたことも無い大きな数珠を前に、何をしても良いのか分からずいました。すると不安気な母娘へ気さくに声を掛けて暖かく皆様の輪の中へ入れて頂きました。人とのつながりに感謝の言葉しか見つかりませんでした。

数珠を手にし、今までの私、これからの私、人としての成長を思いながら一所懸命に回しました。

最後に普段聞くことのない住職様の講話を聴き、貴重な時間を過ごし、もっと色々なこと学びたいと思いました。

帰路の車中で、私の心は軽く穏やかになっているのに気づきました。私が求めていたのは、これかと思いました。

普段できない貴重な体験を本当にありがとうございました。



アコーディオンの様な大般若転読



ミズキの枝に餅は、子孫繁栄を願う年始飾り！



能登半島地震物故者慰霊と新年祈祷

一年の邪気を祓う年頭法要

寄稿

沢渡 高橋 淳

この度、地区の推薦を頂き当山の総代に就任しました。

当山は、山寺然とした風格です。何より先祖代々見守ってくれていることに対し敬意の念を表したいと思っております。

私は、青壮年部の役員として籍を置きながら、なかなか十分な協力もできずにおりました。しかし、皆さんとの交流を通じ、信仰の何たるかを身近に感じることができたように思えます。

仕事柄、研修や旅行も含め各地の寺社を巡る機会も少なくありません。

特に感ずることは仏閻のすばらしい事はもとより、信徒が一心不乱にお経を唱えている姿は心を打つものがありました。

私も今後は、事あるごとに、まずは教本を取り、唱えることができればと思うこの頃です。

近頃は、訳のわからない宗教など世間を騒がせています。

加えて、お寺との係わりも希薄になりつつあると言われております。

我々の生活の規範でもある仏の教えをより身近なものとする為に、総代としての職務を遂行して参りたいと思っております。



前任の早坂俊則前副総代長へ感謝状授与



早速発言！淳ちゃん頑張れ！



ベテラン布教師 建福寺 加賀正孝師の切々と心に沁みる法話



研鑽を積んだ御詠歌に賛嘆の声次々



お釈迦様の御足を頭上に頂く九拝

心に沁みる涅槃会

寄稿

お釈迦様の御命日の法要 「涅槃会」に参加して

樹木葬 会員 岩崎繁子

数日前の雪空が嘘のような良い天気の日、涅槃会のお誘いを頂き参加しました。

本堂に入ると正面に涅槃図が掲げられていて、お亡くなりになったお釈迦様の周りには大勢のお弟子さんや、動物たちが悲しんでいる様子。これからどうしようと思っっているのでしょうか。

御詠歌奉詠から始まり、法要、福島建福寺加賀正孝住職の御法話を聞かせて頂きました。

最近、身近に不幸があると、つつい悲しみのどん底に落とされたような気持ちになっていましたが、お釈迦様のお話の様に、私の心の中に生き続けてくれるように、これからも日々精進を重ねていきます。

御詠歌の『みほとけは どこにおわすと尋ぬるに たずぬる人の胸のあたりに』

今回の涅槃会の法要でこの歌が心にしみ、元気に頑張ろうと思えました。



コーヒー説法 in 仙台



宮城福島教区布教師会主催の
コーヒー説法が年7回一般の方向け
に仙台市内一番町を会場に開催さ
れています。
12月13日は当山住職が担当し会
場に入りきれないくらいの聴衆が
熱心に聞き入りました。



サンタクロースの仙台四郎が!?



仙台臨済会 歳末助け合い托鉢

たくはっ

今後の行事予定

- ◎3月24日(日) 午後3時
境内墓掃除
- ◎5月15日(水)
子育て水子地藏祭り・降誕会
- ◎8月11日(祝日・山の日・日)
孟蘭盆施餓鬼会
- ◎8月13日(火) ~ 15日(木)
盆棚経
- ◎8月18日(日) 午後4時
墓清掃



雪吊り 冬の準備が整いました

編集後記

元日に起きた能登半島地震で被災され、不自由な避難所生活を続けておられる皆様には、一刻も早く、安心な日常が戻りますようお願いいたします。

さて榎ノ木は本号で28号になりました。編集会議では鉄人28号の話題で盛り上がり、『ピルのまちにガオー』と歌ったか『あくまがまちをねらってる』と歌ったかで年代が分れました。
あなたはどちらでしたか？



綿帽子地藏？

でも、平成生まれの我が娘は鉄人28号すら知りませんでした！ 啞然

- 広報部
- 部長 相澤敏晴
 - 副部长 佐藤彰
 - 部員 早坂妙子 小川弘吉

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部
〒九八一・三六二五
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三